

# 面接

## 入学試験問題の講評

### (フロンティアサイエンス学部)

#### ●出題のねらいと傾向

【知識活用力評価型】の面接試験では、事前に提出された特定課題に関するレポートに関する説明とともに、その場で示される図やグラフを見ながら、化学基礎または生物基礎に関する内容について説明するとともに関連する質問に回答することが求められました。

面接で提示される図やグラフは高等学校の授業で必ず学習している基礎的な内容に関するもので、受験生が、化学・生物のいずれか一方を選択し、さらに2つの問題から1つを選ぶ、という形式で行われました。

【課題探究力評価型】の面接試験では、探究活動に関するレポートについて説明するとともに、それに関連する質問に回答することが求められました。

探究活動に関するレポートの記載された研究背景、設定した目的・仮説、課題を解決するためにとった方法、得られた成果などを中心に質問がされ、受験者は提出した探究活動に関するレポートや別紙資料、ホワイトボード等を使って説明する形式で行われました。

#### ●解答内容について

【知識活用力評価型】では、化学は単体や化合物の性質や構造の特徴に関する説明が求められました。ほとんどの受験生が、単体の分類や化学結合に関連する基礎的知識を身につけており、その内容をほぼ的確に説明できていました。同位体の存在比率を使った原子量の求め方の説明はやや難しかった用ですが、少しのヒントで修正もできていました。また、生物はタンパク質の合成や血糖値の調節に関する説明が求められました。どの教科書でも見られる遺伝子の転写、翻訳の図や体内の特定器官が作るホルモンの分泌やフィードバックの図は見慣れているものと思われ、皆さんよく理解されていました。いくつかの単元にまたがった内容については包括的な説明が難しかった人も見受けられました。化学、生物ともに総合的には、しっかり考えて端的に答えようとする姿勢が見て取れました。

【課題探究力評価型】では、提出いただいた資料に基づいて説明をしてもらいました。

#### ●アドバイス

1.教科書に出て来る用語を暗記するだけでなくその内容を体系立てて理解することを心がけましょう。また、そのためには、普段から「なぜそうなるのか」を考えたり、教科書の前後の内容を関連づける習慣を身につけておくといいでしょう。

2.図やグラフの説明をする際に、何に重点を置くのか、どのような順番で説明するのか、といった、プレゼンテーションの技術も試されます。質疑応答では、質問の意味を正しく理解し、何が要求されているかをよく考え、自分の考えを論理的かつ端的に説明することが求められます。

3.自分の考えがまとまらないまま説明を始めて、途中で詰まってしまうケースも見受けられました。日頃から、高等学校で習った事柄や自分が考えた内容について、正確かつ端的に、他者に説明するトレーニングをしておきましょう。

4.新聞、テレビ、インターネットなどを通じて、科学ニュースに触れる機会をもち、さまざまな事柄に関心を広げて、自分の“引き出し”を増やしておきましょう。

5.面接で緊張してしまうのは誰でも当然のことと思います。面接員も、皆さんの緊張を解くように配慮した面接を心がけますし、それが減点にはならないので安心してください。